



# 2006年3月期 決算概要

2006年5月15日



千代田化工建設株式会社

# 1. 業績概要

単位: 億円

	2005/3	2006/3	前期比	伸び率	期首 2006/3予想	増減
受注高	4,112	8,042	+3,930	96%	3,500	+4,542
完成工事高	2,676	3,908	+1,232	46%	3,100	+808
営業利益	110	207	+97	87%	140	+67
経常利益	115	231	+116	100%	140	+91
当期純利益	128	194	+65	51%	145	+49
配当	6円	10円	+4円		8円	+2円
為替レート	107円/\$	117円/\$			100円/\$	

## 2. 完工高・営業利益内訳

	2005/3	2006/3	前期比
完工高	2,676億円	3,908億円	+ 1,232億円
営業利益率	4.1%	5.3%	+ 1.2%
営業利益	110億円	207億円	+ 97億円

(1) 営業利益が前期比97億円増加した要因別内訳

	寄与額	寄与率
完工高増加要因	58億円	60%
営業利益率改善要因	39億円	40%
(合計)	97億円	100%

## 2. 完工高・営業利益内訳

(2) 完工高が前期比1,232億円増加した内訳

単位:億円

	2005/3	2006/3	前期比	伸び率
ガス・動力	1,625	2,845	+1,220	+75%
LNG	(1,108)	(2,302)	(+1,194)	+108%
ガス開発	(335)	(174)	( 161)	48%
国内受入基地等	(182)	(369)	(+187)	+103%
ガス化学	147	79	68	46%
石油・石油化学	570	537	33	6%
ファイン・インダストリィ他	334	447	+113	+34%
(合計)	2,676	3,908	+1,232	+46%

(3) 営業利益率が前期比1.2%向上した内訳

	2005/3	2006/3	前期比
完工総利益率	7.4%	7.8%	+ 0.4%
販管費比率	3.3%	2.5%	0.8%
営業利益率	4.1%	5.3%	+ 1.2%

### 3. 営業外収益・営業外費用

単位：百万円

	2005/3	2006/3
【営業外収益】		
受取利息・配当金	742	2,667
持分法投資利益	152	193
不動産賃貸収入	247	269
その他	141	151
【営業外費用】		
支払利息	304	302
為替差損	102	174
不動産賃貸費用	149	148
その他	218	223

\* 金融収支：受取利息・配当金2,667百万円 - 支払利息302百万円 = 2,365百万円

## 4. 特別利益・特別損失

単位：百万円

	2005/3	2006/3
【特別利益】		
貸倒引当金戻入額	1,073	1,367
偶発損失引当金戻入額	200	-
その他	34	223
【特別損失】		
退職給付制度一部終了損	-	1,995
工事和解金	-	469
固定資産売却損	390	-
減損損失	233	127
固定資産除却損	98	-
その他	124	254

## 5. 連結B/S

単位:億円

	05/3	06/3	増減		05/3	06/3	増減
【流動資産】	1,620	2,566	+946	【流動負債】	1,397	2,051	+654
現金及び預金	423	470	+47	短期借入金	101	0	101
営業資産三勘定	626	648	+22	営業負債三勘定	1,187	1,878	+691
JV持分資産	499	1,313	+814	その他	108	172	+64
その他	70	133	+63				
-----				-----			
【固定資産】	208	230	+22	【固定負債】	62	190	+128
有形固定資産	67	70	+3	長期借入金	2	101	+99
無形固定資産	28	31	+3	その他	60	88	+28
投資等	112	128	+16	【資本】	368	555	+187
【資産】	1,828	2,797	+969	【負債・資本】	1,828	2,797	+969

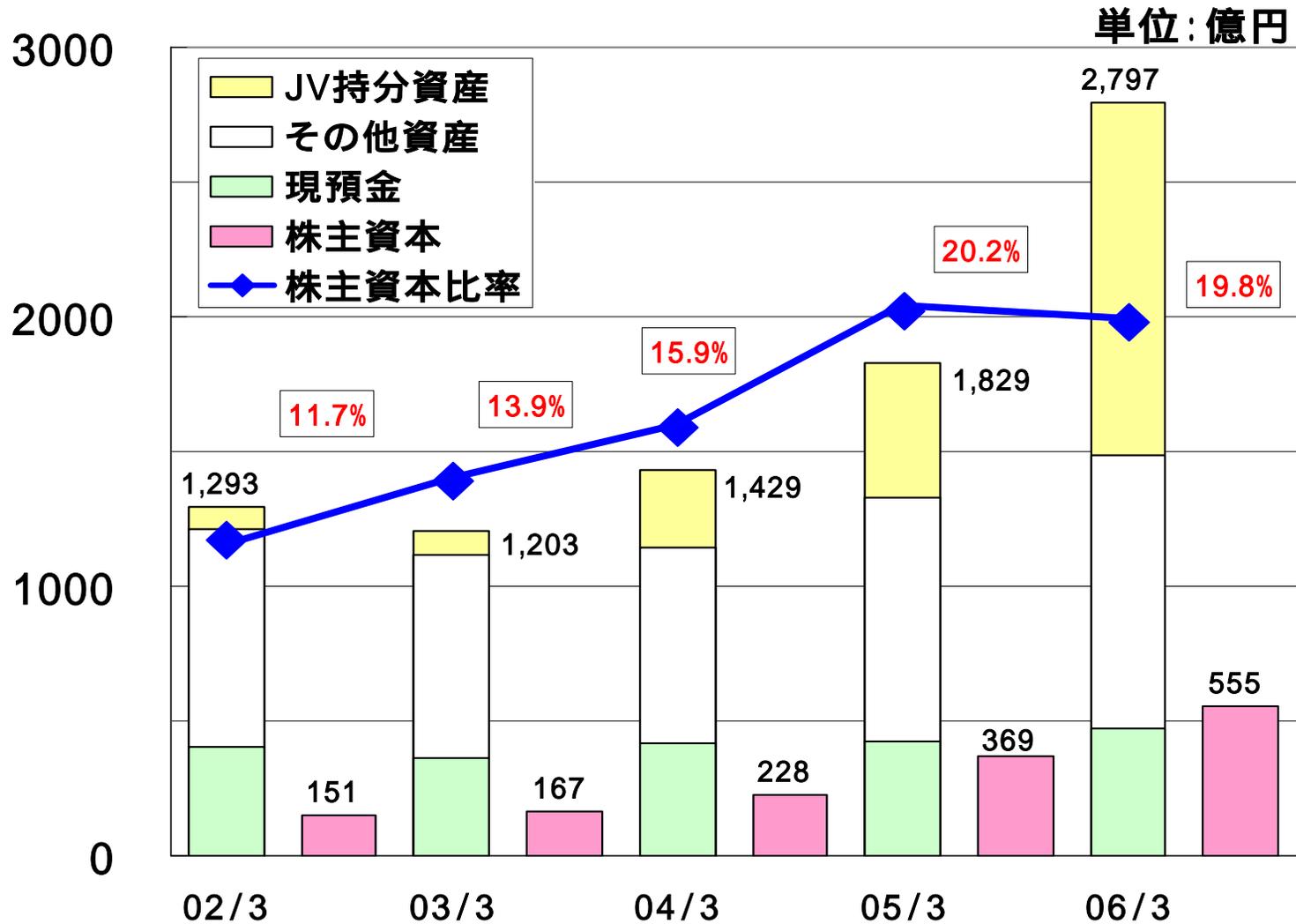
【注】 営業資産三勘定 = 受取手形 + 完成工事未収入金 + 未成工事支出金

営業負債三勘定 = 支払手形 + 工事未払金 + 未成工事受入金

JV持分資産 = ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

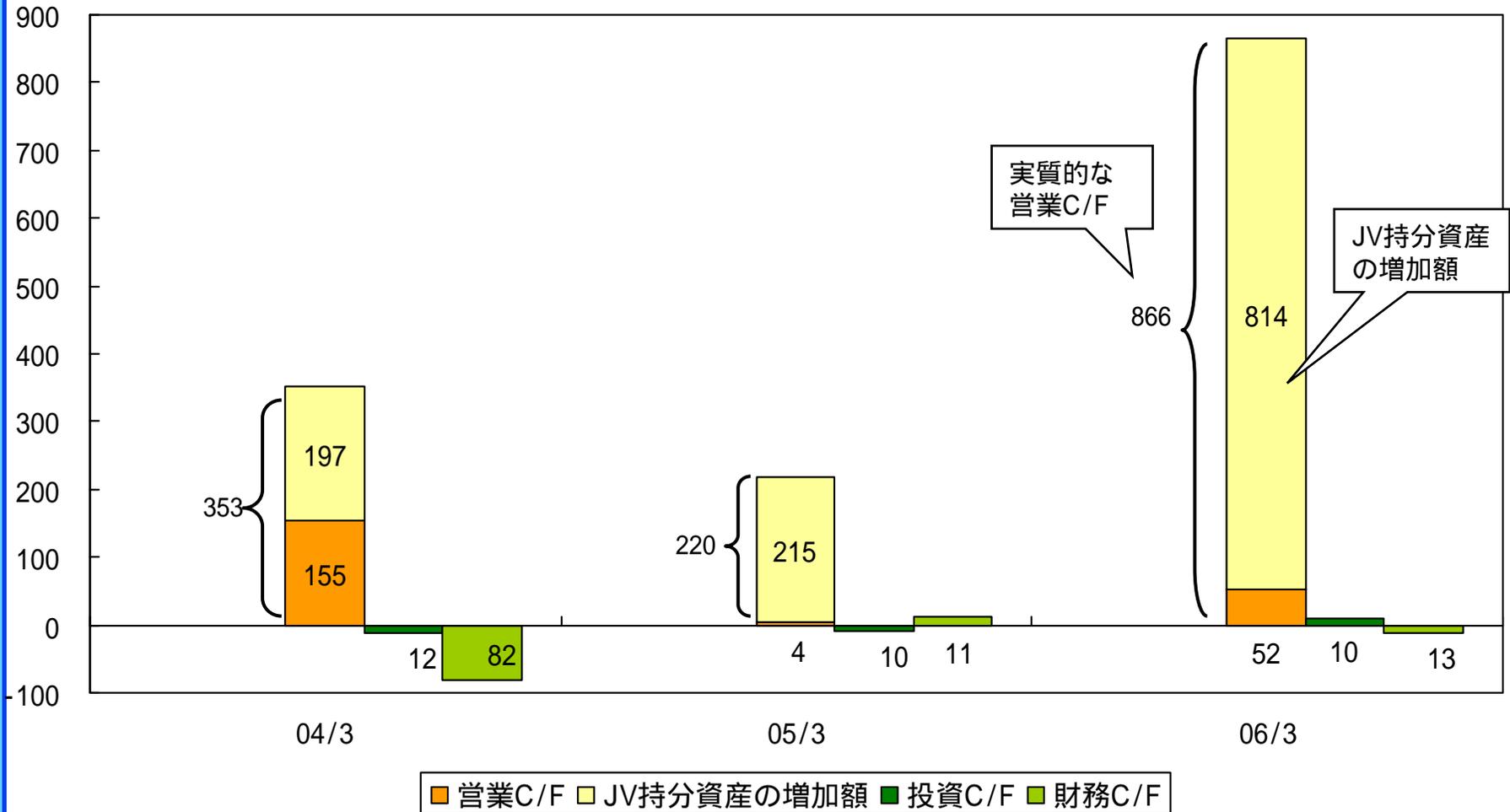
現金等価物 = 現金及び預金 470 + JV持分資産 1,313 = 1,783

# 6.財務の安定性

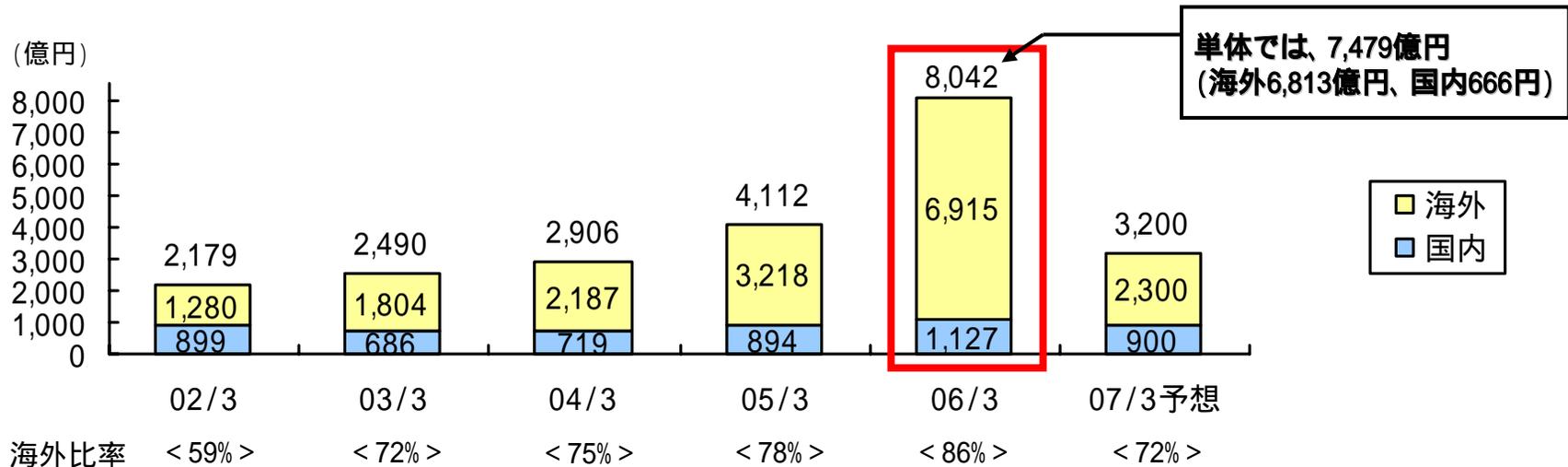


# 7. 連結C/F推移

単位：億円



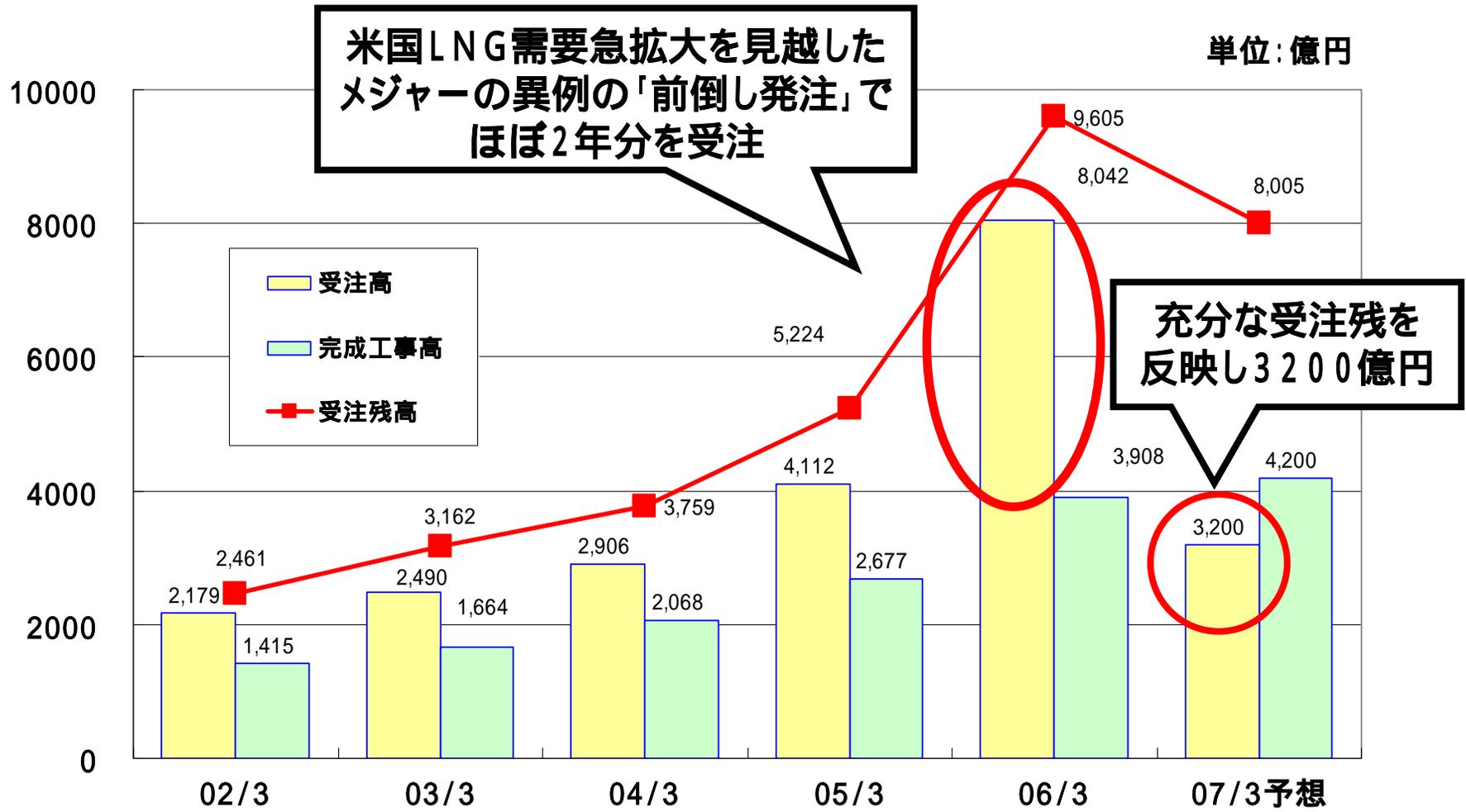
## 8. 連結受注高



### 【主な受注工事】

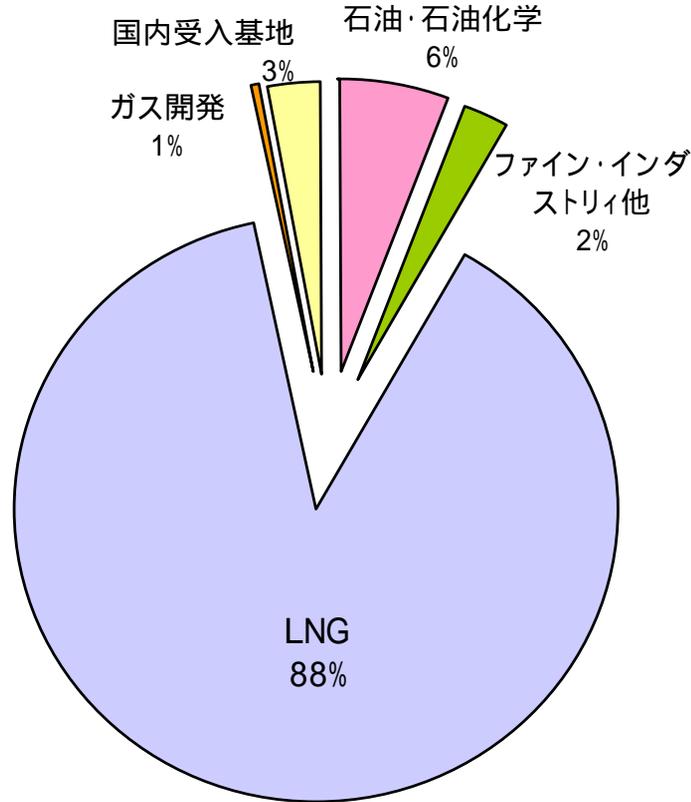
区分	海外	国内
100億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カタール向けラスガス3社LNGプラント第6及び第7系列増設工事</li> <li>● カタール向けカタールガス2社LNGプラント第4及び第5系列増設追加工事</li> <li>● カタール向けカタールガス3社及びカタールガス4社LNGプラント第6及び第7系列増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)ジャパンエナジー アロマコンプレックス新設工事</li> </ul>
100億円未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米国サザン・カンパニー・サービス社へのライセンス供与(米国サザン・カンパニー社向け)</li> <li>● 米国ブラック・アンド・ヴィーチ社へのライセンス供与(米国アメリカン・エレクトリック・パワー社向け及びアラバマ・エレクトリック・コーポレーティブ社向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽石油(株)BTX設備増強工事</li> <li>● 鹿島石油(株)トッパー省エネルギー対策・安定化工事</li> <li>● 出光興産(株)千葉製油所LNR装置再稼働工事</li> <li>● 東亜石油(株)2006年度水江工場定修工事</li> <li>● 旭化成ファーマ(株)製剤工場統合工事</li> </ul>

# 9. 連結受注高・完工高・受注残高推移

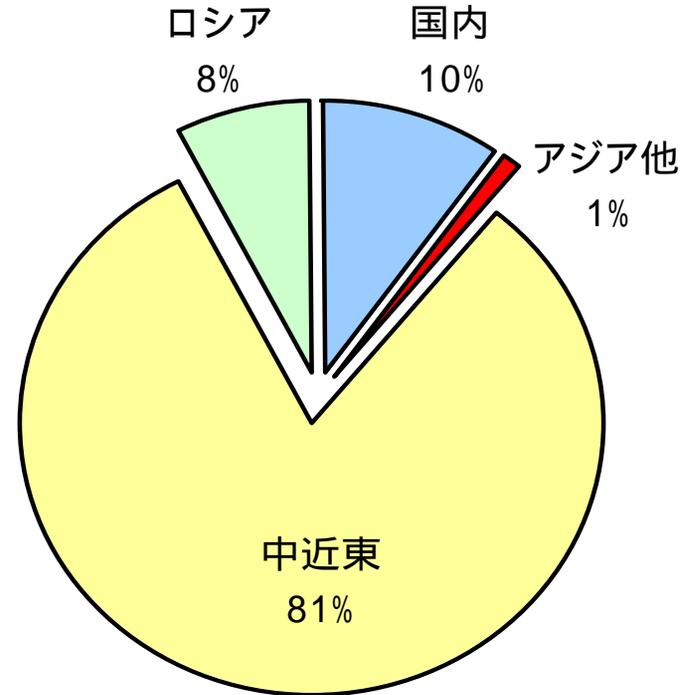


# 10. 連結受注残高内訳

分野別



地域別



連結受注残高9,605億円  
(06/3現在)

# 11. 2007年3月期業績予想 (連結)

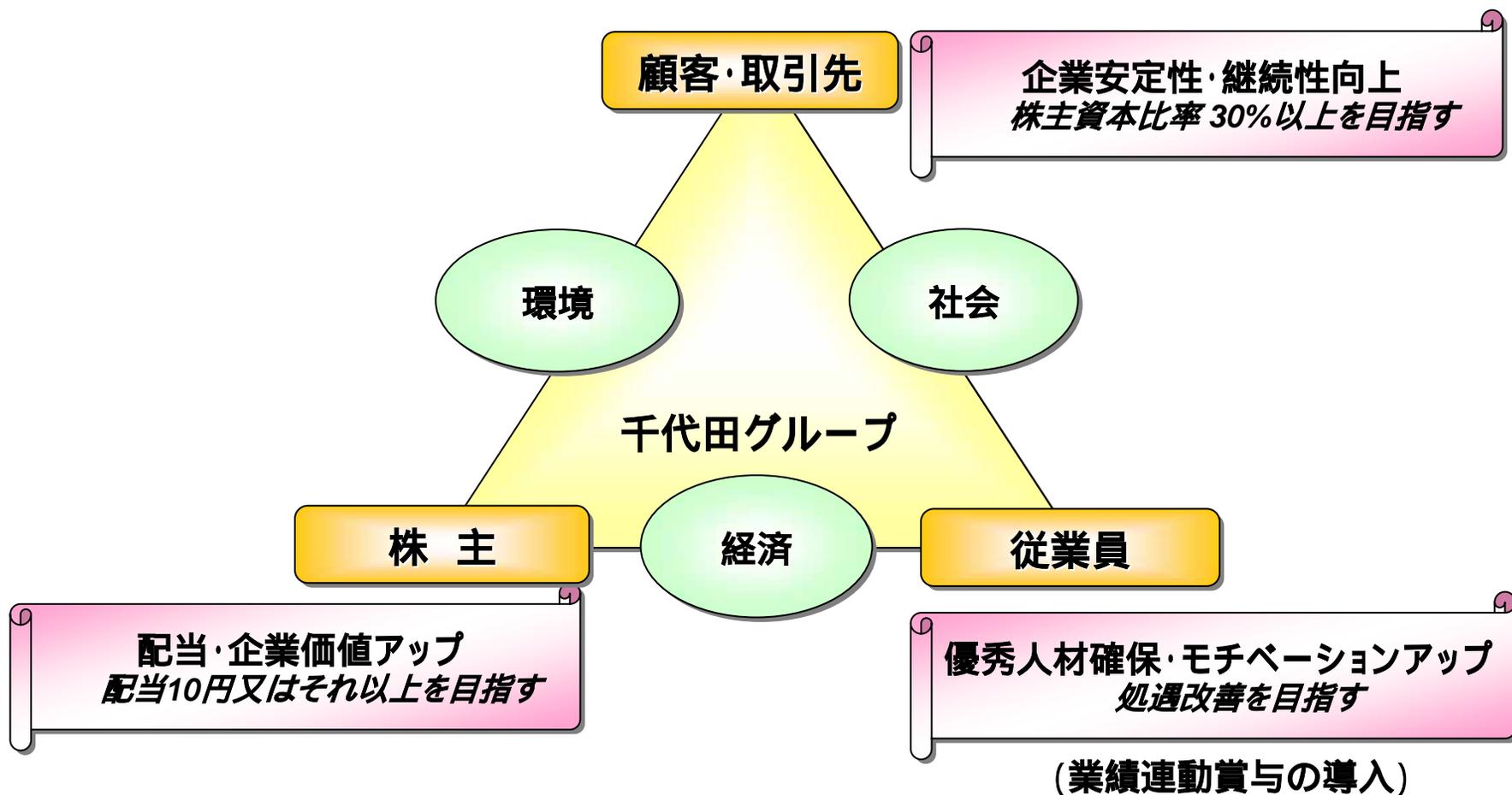
単位: 億円

	2006/3	2007/3予想	増減	2006/9予想	2005/9実績
受注高	8,042	3,200	4,842	1,600	4,421
完成工事高	3,908	4,200	+292	1,900	1,655
営業利益	207	250	+43	105	82
経常利益	231	280	+49	120	90
当期純利益	194	165	29	70	106
配当	10円	14円	+4円		
為替レート	117円/\$	110円/\$			

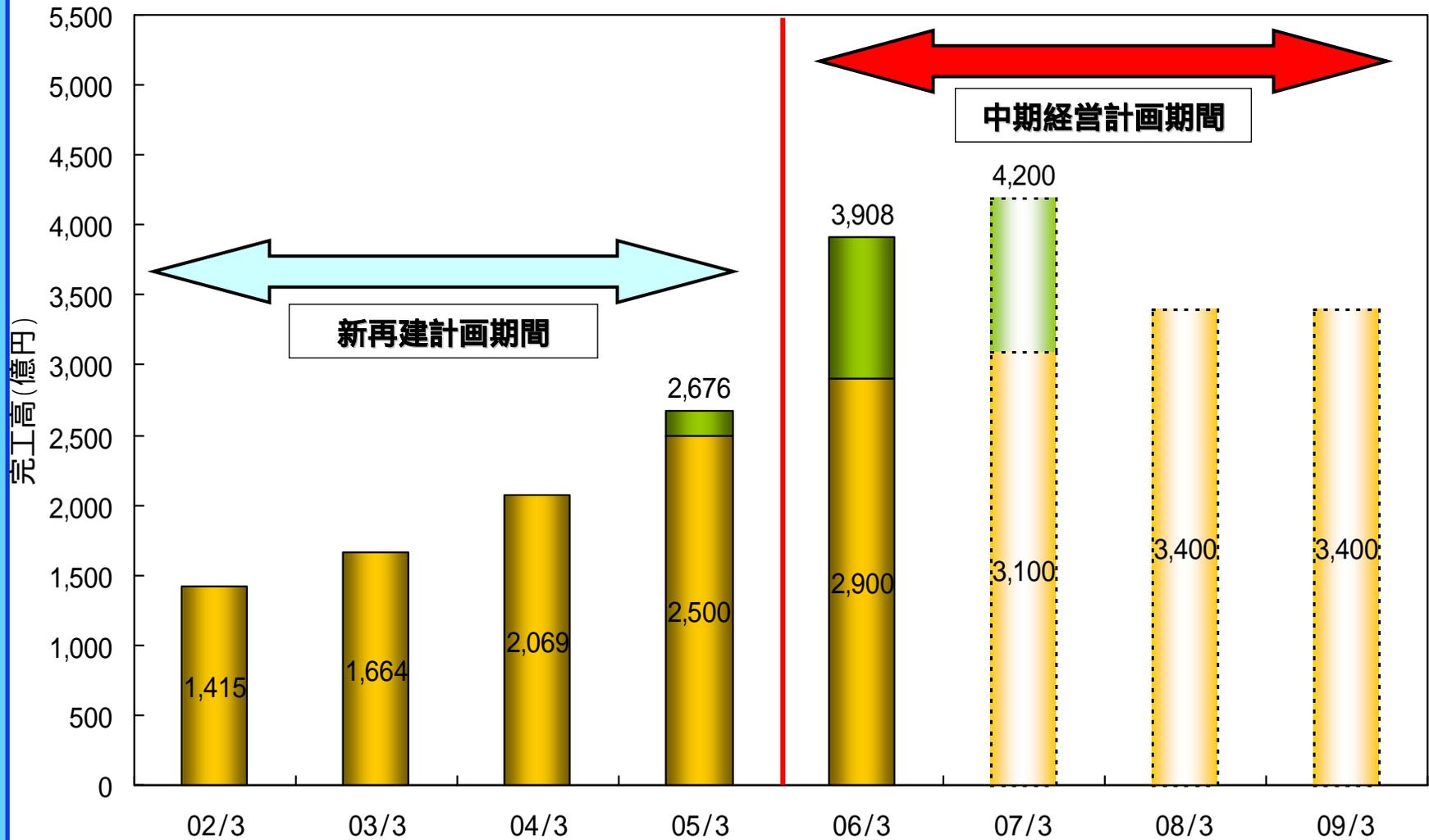
この資料には、2006年5月15日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

# 12. 利益還元方針

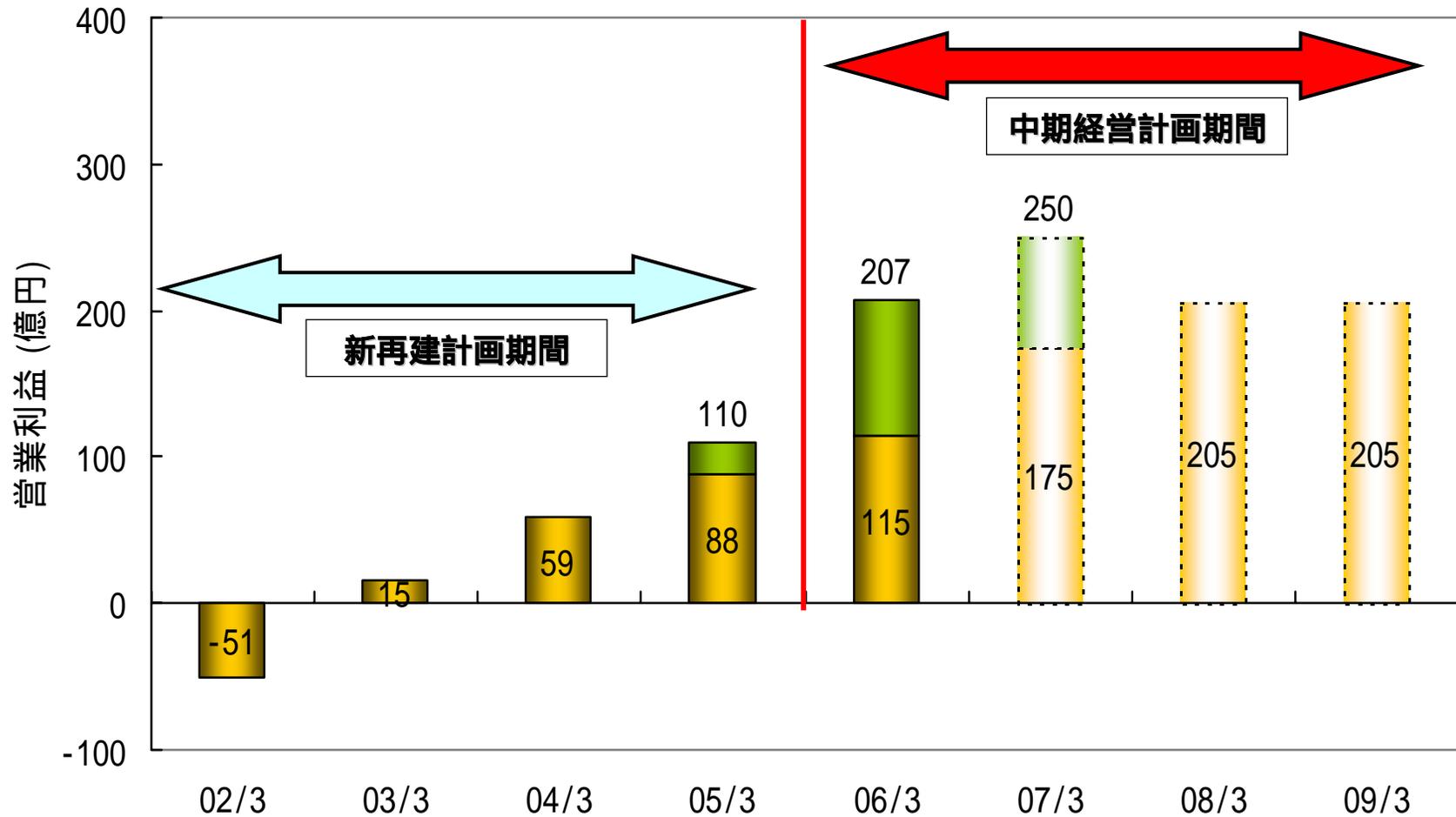
中期経営計画では、ステークホルダーのうち、顧客・取引先、株主、従業員間のバランスの取れた持続的な満足の実現を目指します。



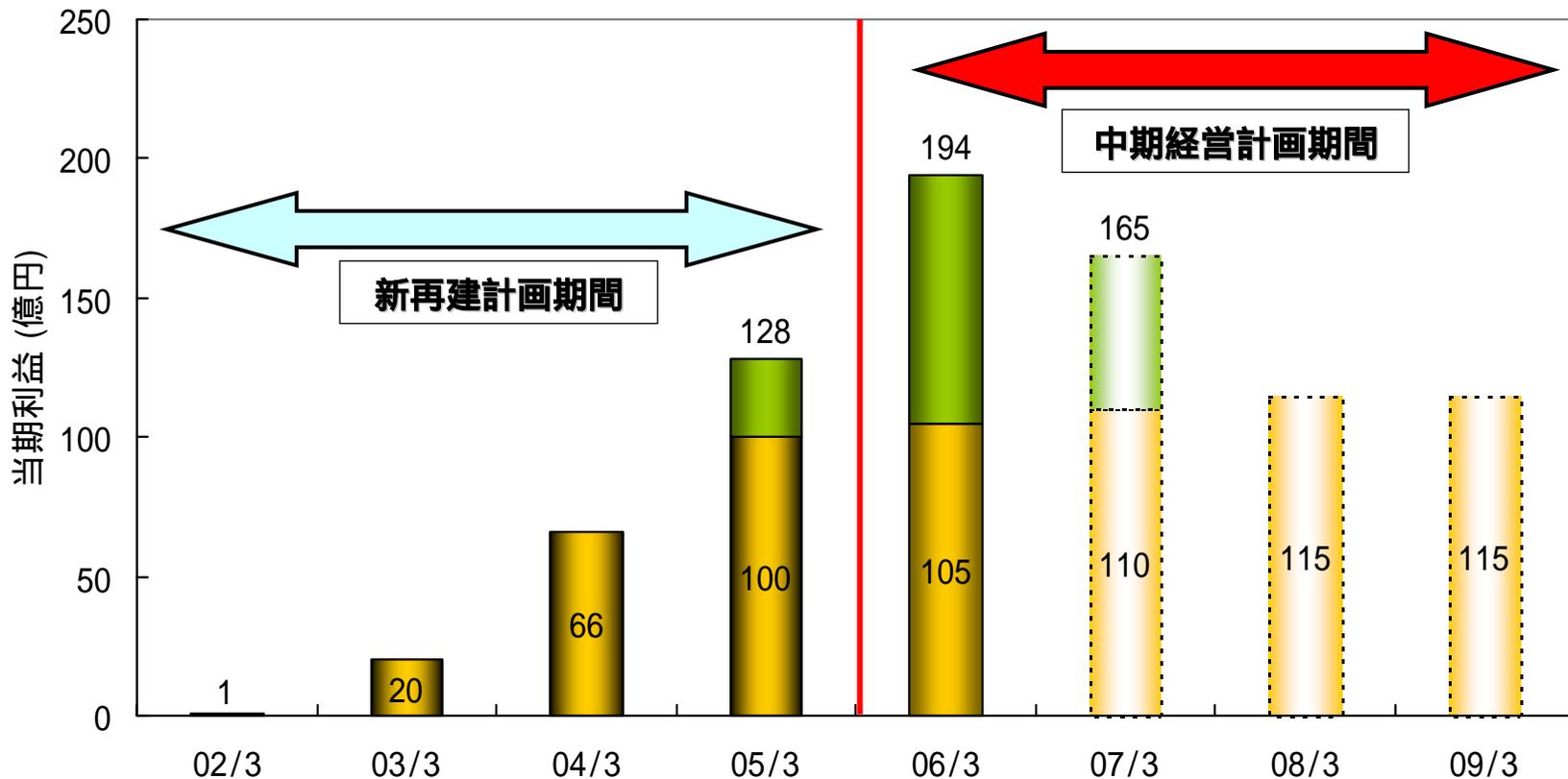
# 13. 業績イメージ (完工高)



# 14. 業績イメージ (営業利益)

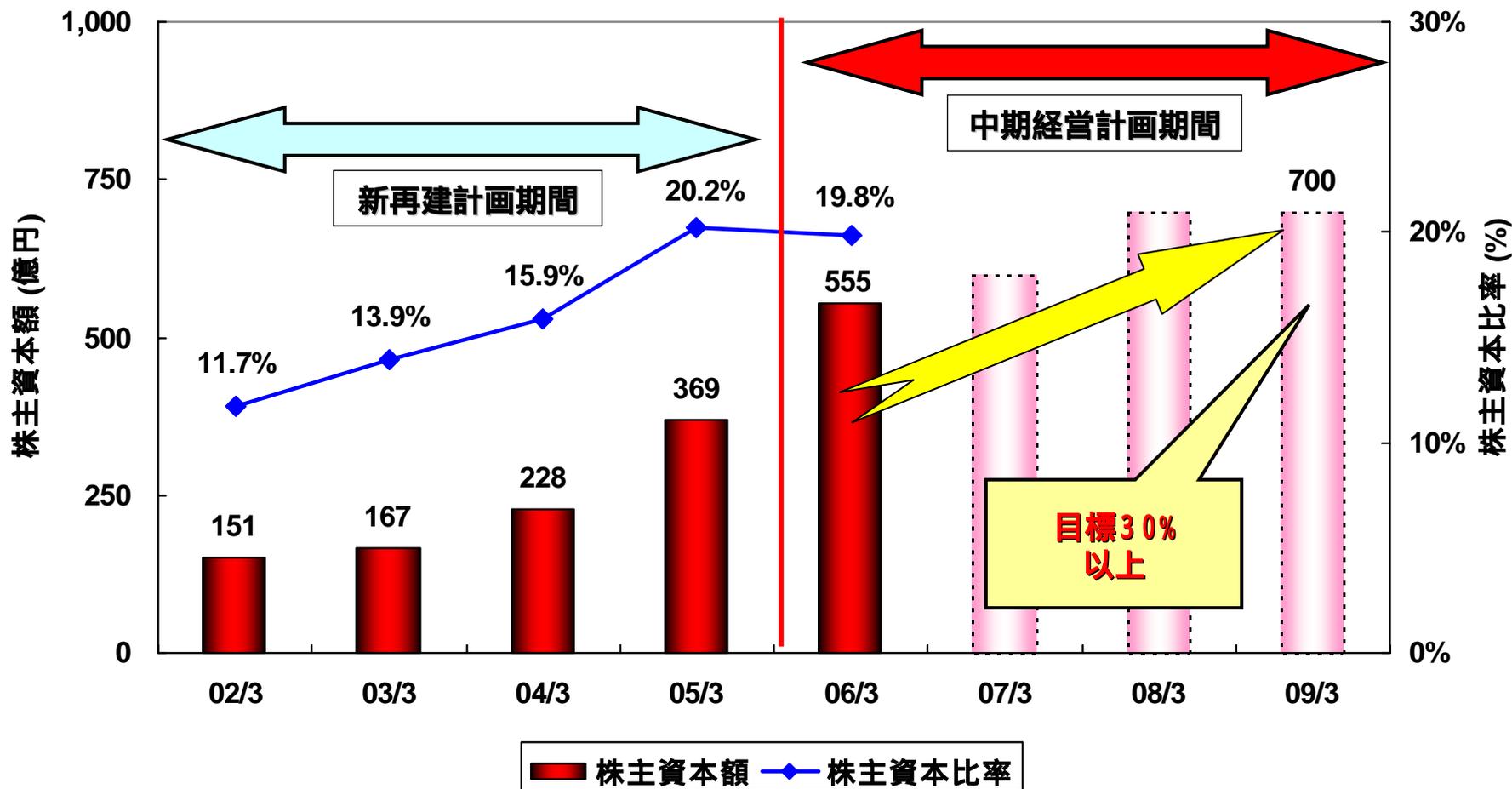


# 15. 業績イメージ (当期利益)



- 注：1. 営業外損益は±0を計画しておりますので、経常利益は営業利益と同額をイメージしております。  
 2. 特別損益は退職年金の制度変更による特別損失の計上を計画しておりますが、それ以外はありません。  
 3. 05年度までは税務上の繰越欠損金があるため、当期利益は平準化されます。

# 16. 経営目標 (財務目標)



## 【連結経営指標】

	04/3	05/3	06/3	07/3 予想
完成工事総利益率(%)	6.8	7.4	7.8	8.3
売上高販管費率(%)	4.0	3.3	2.5	2.3
売上高営業利益率(%)	2.8	4.1	5.3	6.0
売上高経常利益率(%)	3.1	4.3	5.9	6.7
売上高当期純利益率(%)	3.2	4.8	5.0	3.9
総資本経常利益率<ROA>(%)	4.8	7.1	10.0	-
株主資本当期純利益率<ROE>(%)	33.7	43.1	42.0	-
一株当り当期純利益<EPS>(円)	35.91	68.62	101.27	-
一株当り株主資本<BPS>(円)	123.04	193.22	288.88	-
株主資本比率(%)	15.9	20.2	19.8	-
流動比率(%)	115.0	115.9	125.1	-
固定比率(%)	98.0	56.6	41.6	-
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.46	0.28	0.18	-

## 【連結セグメント情報】

区 分		完成工事高 (%)				受注高 (%)				受注残高 (%)				
		04/3	05/3	06/3	07/3 予想	04/3	05/3	06/3	07/3 予想	04/3	05/3	06/3	07/3 予想	
分野別	ガス・動力	46	61	73		73	74	86		80	85	92		
	ガス化学	19	6	2		2	3	0		3	2	0		
	石油・石油化学	19	21	14		15	13	9		11	7	6		
	ファイン・インダストリィ他	16	12	11		10	10	5		6	6	2		
地域別	国内		31	33	27	20	25	22	14	30	24	17	10	12
	海外	中近東	44	36	51		16	70	82		28	57	81	
		ロシア	11	19	14	80	50	3	2	70	37	20	8	88
		アジア他	14	12	8		9	5	2		11	6	1	

## 【主な完成工事】 (\* )は進行基準適用工事の出来高部分

区分	海外	国内
100億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オマーン向けLNGプラント建設工事</li> <li>● カタール向けラスガス2社LNGプラント第3及び第4系列増設工事</li> <li>● カタール向けカタールガス2社LNGプラント第4及び第5系列増設工事(*)</li> <li>● ロシア向けサハリン2プロジェクト(*)</li> </ul>	
100億円未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国向けSMPO/MPGプラント建設プロジェクト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水島エルエヌジー(株)水島LNG基地設置工事</li> <li>● エーザイ(株)治験棟改修工事</li> <li>● 三菱化学エンジニアリング(株)/三菱化学(株)エチレン分解炉設置工事</li> <li>● LPG国家備蓄プロジェクト神栖基地/福島基地の各設備工事</li> <li>● 富士石油(株)低位熱発電システム建設工事</li> <li>● 西部石油(株)混合キシレン製造装置建設工事</li> <li>● 新日本石油精製(株)潤滑油・グリース調合充填設備新設工事(*)</li> </ul>

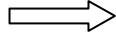
## 【主な手持工事】

区分	海外	国内
100億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カタール向けラスラファン液化天然ガス3社LNGプラント第6及び第7系列増設工事</li> <li>● カタール向けカタールガス2社LNGプラント第4及び第5系列増設工事</li> <li>● ロシア向けサハリン2プロジェクト</li> <li>● カタール向けラスラファン液化天然ガス社LNGプラント第5系列増設工事</li> <li>● カタール向けカタールガス3社及びカタールガス 社LNGプラント第6及び第7系列増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)ジャパンエナジー アロマコンプレックス新設工事</li> <li>● LPG国家備蓄プロジェクト波方基地 / 倉敷基地の各設備工事</li> </ul>
100億円未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国向け酢酸製造設備工事</li> <li>● カタール向けエクソンモ - ビル社湾岸ガス開発プロジェクト追加工事</li> <li>● イラン向け肥料プラント増設工事</li> <li>● アラブ首長国連邦向けBOG/SRUプラント建設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽石油(株)BTX設備増強工事</li> <li>● 新日本石油精製(株)潤滑油・グリース調合充填設備新設工事</li> </ul>

# 「再生」から「DSP2008」でステップアップ、そして「中長期安定成長」へ - 安定成長が望める市場に、競争力ある企業として位置している -

【1990年代】

売上優先  
多角化  
規模拡大



【FY01 ~ 04 = 再建の4年間】

集中と選択

Downsizing

【ビジネスドメイン = 全て「安定成長」が望める】

Energy

60%up(2002 2025)\*

Chemical

生活水準の向上

環境

規制強化

【対策 = 準備は怠りない】

顧客基盤

Majorの信頼

技術力

LNG  
合成ガス(化学)  
重質油軽質化  
排煙脱硫

Project遂行力

大型化  
JV化  
Reliability Program (海外設計拠点)

Cost競争力

低固定費の維持  
(Partnering)  
海外調達拠点  
工事IT化

地域戦略

中東  
アフリカ  
ロシア  
アジア

\* 世界のエネルギー消費。DOE/EIA Annual Energy Outlook 2006

**【お問い合わせ先/Contact】**

**千代田化工建設株式会社**

**〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号**

**広報室長兼IRマネジャー 村田 卓弘**

**IR Manager Takuhiro Murata**

**TEL 045-506-7538**

**FAX 045-506-7085**

**携帯 090-3348-3484**

**e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)**

**URL <http://www.chiyoda-corp.com/>**